

トレーナー「ウマってなんだ？」

日本の恥

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

トレーナー「ウマ娘のウマとは??」

目次

トレーナー「ウマってなんだ？」

1

トレーナー「ウマってなんだ？」

トレーナー「今更だけどウマってなんだ？」

トレーナー「ウマ娘という存在は俺にとって飯を食うためにも周知であり、というかそれが当たり前だ。」

トレーナー「でもウマ娘って何の娘だ？」

トレーナー「ウマ娘の娘…ってそれは普通だがそれだと“ウマ”の意味が分からねえ」

トレーナー「ウマか…ウマの娘…」ウーン…

ダイワスカーレット(以降ダスカ)「あら？トレーナーじゃない。何呻き声出してるのよ？」

トレーナー「あ？ああダスカか」

トレーナー「お前”ウマ”って分かるか？」

ダスカ「ウマ？ウマ娘じゃなくて？」

トレーナー「ああ。昔の人が何を思ってたウマ娘って名前にしたのか気になってな」

ダスカ「…何変なこと考えてんのよ。そんなこと考えてる暇あるなら、もう少し練習メニュー増やしなさいよ。最近マンネリ化してきて刺激が欲しいのよ」

トレーナー「それはすまん…」

ダスカ「ま、今の練習楽しいし別にいいけど」

ダスカ「…で、ウマが何なのかよね？」

ダスカ「うーん…確かに考えてもみなかったわ」

トレーナー「だろ？」何”の娘なんだろうな？」

ダスカ「そうね…でも昔の人は”ウマ”を知ってるってことよね。ってことは何かの動物かしら？」

トレーナー「確かにお前ら頭に耳ついてるもんな」

トレーナー「尻尾もついてるし」

ダスカ「確かに動物っぽい要素はあるわね…」

トレーナー「…お前らって」

ダスカ「…？」

トレーナー「お前らって人間でいう耳の位置には何があるんだ？」
ダスカ「…」

???「でへへへ…」

アグネスデジタル(以降デジタル)「トレーナーさんとダスカちゃんが楽しそうに話してる…」

デジタル「これは新しい本が書けそう…!」

ダスカ「…あ! デジタルじゃない! ちようどよかったわ! こっちなさい!」

デジタル「え!?!?!」ドキッ

ダスカ「ーという訳で、アンタ〃ウマ〃って何か知ってる?」

デジタル「ええ…? ウマ?」

トレーナー「そうなんだ。このままだと昼寝出来ない」

デジタル「それは知らないですケド」

デジタル「ウマかあ…」

デジタル「…」ウーン

ダスカ「動物ってひとこと言っても沢山あるわよね。爬虫類とか哺乳類とか」

トレーナー「魚類とか昆虫もそうだぞ」

デジタル「いや、それ耳もしっぽもないじゃん」

デジタル「…そういえば」

トレーナー「何か知ってるのか!?!」

デジタル「ひゃあ! ビックリしたあ! いきなり大声出さないでよ!」

トレーナー「す、すまない…」

トレーナー「で、何か知ってるのか?」

デジタル「いや、私は知らないけどスマホで調べたらいいんじゃないのかなーって思ってる」

ダスカ「確かにそうね。アンタ調べたの?」

トレーナー「…そういえば調べてねえな」

ダスカ「やっぱりね」ハア…

デジタル「トレーナーさんのことだからワンチャンあると思ったんだよねー」

トレーナー「早速調べてみるか…」ポチポチ

トレーナー「『検索 ウマ娘 ウマとは?』」

トレーナー「…お、それっぽいのがあったぞ」

ダスカ「よかったじゃない。私たちに聞くより早いじゃないの?」

デジタル「トレーナーさんはもう少し現代機器にも関心持とうよ…」

トレーナー「すまんね機械音痴なもので」

ダスカ「でーなになに?」

ダスカ「ウマ娘の“ウマ”とは何か」

トレーナー「ほうほう…」スー

ダスカ「ちよつと!まだ私が読んでる途中でしょ!」

トレーナー「読むのが遅いのが悪いんです」

ダスカ「フンツ」ゲシツ

トレーナー「ア”ア”ア”ア”イ”ツ”テ”エ”エ”エ”!!!」

ダスカ「当然の結果ね!アタシが1番なんだから!（蹴りの威力的な意味で）」

デジタル「何2人芝居してるの…」ハア…

デジタル「…ん?」ヒョイ（スマホ拾い）

デジタル（…ウマとは現在解明されていない未確認生物の略称である。正確にはUnified Memory Architecture（ユニファイド・メモリー・アーキテクチャ）であり、それぞれの単語の頭文字をとってUMAと言われている。ウマ娘たちがいつから存在し、一体何を見てウマ娘と名付けられたか定かではないがウマ娘のウマはUMAであると言われている…）

デジタル（…え?てことは私たちの祖先ってまだ分かってないの?いやまあ確かにトレーナーさん達と身体の仕組み似てるけど色々動物の要素残ってるし人間とは違う種ではあるんだろうけど…ってか根拠薄つ…流石に薄すぎやしませんかねその根拠は…）

デジタル (とはいえこれトレーナーさんに言ってもいいのかな
? 流石に未確認生物育ててるって思われるのはなんか嫌だし…)

デジタル (…消すか)

ダスカ「アンタってばいつもいつも生意気なのよ! もう少し可愛げ
を見せなさいよ!」

トレーナー「うるせえ! 聞こえねえ! ばーかばーか!」(語彙無)

デジタル「…何かイラつくしデータも消してあげよ☆」

その後背中に大量に靴の跡のような痣を作ったトレーナーはデー
タが消え、中には何故かアグネスデジタルの連絡先が入っているスマ
ホに、また連絡先登録を繰り返しつつ、ウマ娘育成を励むのであった。